

第6次長岡京市障がい者(児)福祉基本計画 主な実績(令和7年1月時点)

資料①

※令和7年1月時点で進捗のある主な事業のみを抜粋しています。

基本目標	施策項目	事業区分	回答部署	事業名	事業概要	令和6年度の実績(R7.1月時点) (実施内容、成果など)
1 ふれあい・わかりあい・支えあうことができる	(1)ふれあい・わかりあいのまちづくり	その他	障がい福祉課	「障がい者児の人権を考える市民のひろば」開催事業	市民が人権を考える機会として、障害者週間に併せて子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できるよう配慮しつつ、障がいに関する企画や、映画、講演会、障がい当事者による発表などを行います。	12月7日(土)に中央公民館で「障がい者児の人権を考える市民のひろば」を開催しました。 今年度は集客のため、保育所(園)、小学校、中学校の在籍児童全員にチラシを配布しました(一部小学校は電子配信)。また、実行委員会企画としてポッチャ体験、子ども向けのお菓子釣りを実施しました。 手話歌や合唱のほか、視覚障がい者によるマッサージ体験や障がい福祉事業所利用者作品展、要約筆記展示、スポーツ用車イス展示など、障がい理解を促進するための取組を充実させました。 参加者数:約500人
1 ふれあい・わかりあい・支えあうことができる	(2)支えあいのまちづくり	代表事業	障がい福祉課	あいサポート運動事業	誰もが暮らしやすい社会の実現をめざすため、多様な障がい特性を学び、障がいのある人が困っているときにちょっとした手助けを実践する「あいサポーター」の養成に取り組むとともに、あいサポート運動についてより多くの市民へ周知を進めていきます。	市職員、企業、市民等を対象にあいサポーター研修を10回開催しました。その結果、6団体を「あいサポート企業等」に認定しました。142名のあいサポーターを養成しました。
6 文化芸術・スポーツ活動を楽しむことができる	(15)文化・芸術スポーツ活動の推進と活性化	その他	障がい福祉課	障がい者スポーツ・レクリエーション事業	市内の障がいのある人が市外の様々な人と触れあう機会となる、京都府障害者ふれあい広場「スポーツレクリエーションフェスティバル」や乙訓障がい者スポーツ・レクリエーション広場等に幅広い世代が参加しやすいよう取り組みます。	・「京都府障害者ふれあい広場」 5月開催 ・「長岡京市障がい者スポーツフェスティバル」 10月開催 ・「乙訓障害者スポーツ・レクリエーション」 年4回(6, 8, 12, 3月)開催